



重点目標の達成に向けて

教頭 大澤 充

7月に入り、毎日猛暑が続き、冷房を入れる日が続きました。児童生徒の健康面が心配されましたが、元気いっぱい登校する姿を見るたびに、力をもらいます。

今年度は、児童生徒269名でスタートしました。今学期、児童生徒一人一人が成長し、一歩も二歩も前進した姿はとても頼もしく思えました。

さて、6月30日（金）には第1回学校評議員会及び学校評価懇話会が実施されました。埼玉県立学校では、学校が地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者の皆様や地域の方々等の意見を把握、反映し、その協力を得るために学校評議員会を設置しています。会議では、授業視察、校長から学校経営方針、教頭から学校自己評価システムシートを基にして教育活動全般について説明を行い、その後委員の皆様より意見をいただきました。（一部抜粋）

今年度の学校評議員及び学校評価懇話会委員

白井 健次 氏	立正大学社会福祉学部准教授	深野 聡 氏	社団法人東京乗馬倶楽部
持田 栄 氏	深谷市立川本中学校長	木村 知之 氏	深谷市川本公民館長
杉山 睦郎 氏	埼玉県障害者雇用サポートセンター 企業支援アドバイザー	渡辺 尚美 氏	PTA 副会長
高橋 清頭 氏	特定非営利活動法人 そうだんべ 障害者相談支援センター 八分目	石川 幸衛 氏	PTA 副会長
根岸 里花 氏	PTA 会長	滝沢 麻里 氏	PTA 副会長
		生徒代表	本校生徒会長

- 小中高等部と繋がりのあるキャリア教育を柱にできることを一生懸命やっていると感じる。
- 作業学習を見学して素晴らしい能力を発揮している生徒がいる。個人のそうした能力を発見し、就労に繋がれば素晴らしい能力が発揮できる。
- 本校の後援会は他の学校の組織とは違う。もっと宣伝や広報をすれば関心のある人も多いのでは。
- 先生方の工夫や合理的配慮は感じられる。手のかからない生徒達にも評価等を工夫し意欲を高められる配慮があるとよい。
- 教室表示等、場所を認識できる手がかりがあるとよい。など

さらに、高等学校への通級指導教室や今後の就学支援の在り方について、質問がありました。今後も、外部の有識者の貴重な意見を活かし、本校の教育活動全般について更なる改善に努めてまいります。

保護者の皆様には、運動会をはじめ、学校行事、各学部行事への参加など、公私ともにお忙しい中、ご来校いただき深く感謝申し上げます。その都度いただいた貴重なご意見を教職員全員が真摯に受け止め、保護者の期待に応えるべく、子どもの更なる成長のため、全教職員が一丸となって取り組んでまいります。1学期、本校へのご支援ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。